

Elazzo

SEAT COVER



HONDA

JADE

専用シートカバー取付説明書

Glazzio

SEAT COVER

このたびは「Glazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…>03-04

シートカバー装着前の注意事項

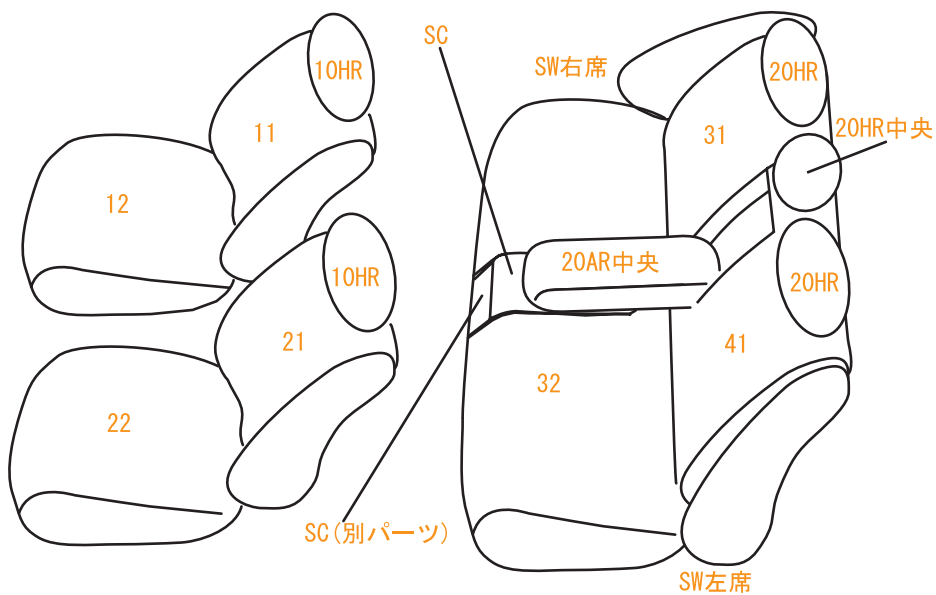
…>05-28

シートカバーの装着方法

…>29-30

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



1. ソケットレンチ (ソケット 10mm/12mm/14mm)
2. プラスドライバー
3. クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種では上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せず）にして、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品 交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品 交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきます。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例) 座席に生じた傷、破れ、摩擦、シワ、ヘコミ、変型、変色、化学変化等

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りの過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましては一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1列目座面の装着方法



1 始めに、シート後ろ側から底面を覆っている生地を取り外します。生地はシート底面の金属部に、フックで固定されていますのでフックを外して下さい。



4 入れ込んだ生地を、後ろ側から引き出します。引き出す際に、図のように配線をかわすようにして下さい。



2 カバーを裏返した状態で、シートのラインに合わせてかぶせます。



5 シートのラインがずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。
※矢印部は7番を参照。



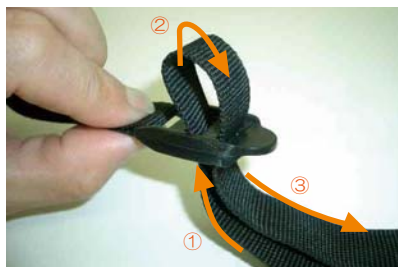
3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



6 カバー外側面の生地をシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



- 7 背もたれと座面の付け根付近（5番の矢印部）の隙間に生地を入れ込みます。



- 10 4番で引き出した生地についているバックルに9番で引き出したベルトを通します。ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、前後に引く事でベルトが締めまり固定されます。



- 8 カバー内側面に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付け、シート底面の金属部に引っ掛け固定します。



- 11 4番で引き出した生地（図の○部）に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付け、シート底面の金属部に引っ掛け固定します。



- 9 カバー前側に付いているベルトを、シート底面を通し、後ろ側から引き出します。この際、ベルトは図の金属バーの上側を通して下さい。



- 12 カバーのラインを整え、1列目運転席座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 2

…> 1列目背もたれの装着方法



- 1 カバー側面に付いているファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 5 入れ込んだ生地を、後ろ側から引き出します。引き出す際に、図のように配線をかわすようにして下さい。



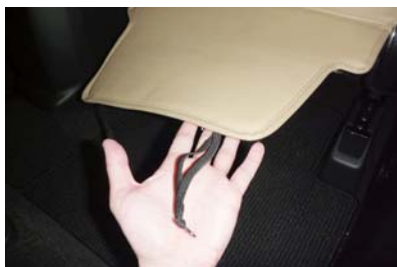
- 3 生地の伸びを利用して台座を取り出します。



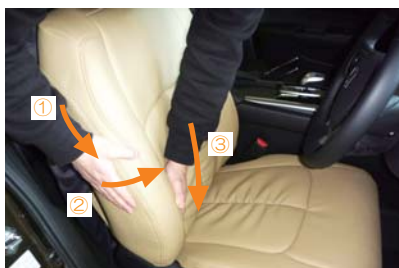
- 6 5ページ1番で取り外した生地をカバーの内側へ入れ込みます。



7 カバー両側面のファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じます。余ったファスナーは、カバーの内側へ入れ込みます。



10 カバー背面に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。



8 図の①～③の順番に側面の生地をシートに馴染ませるようにしながら、カバーのラインを整えます。



11 金属フックをシート底面の金属部に引っ掛け固定します。



9 5番で引き出した生地と背もたれ背面の生地を、マジックテープで固定します。



12 カバーのラインを整え、1列目運転席背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 3

…→ 2列目座面の装着方法



- 1 始めにトランクルームからラゲッジボードを外します。ラゲッジボードは車外へ運び出します。ラゲッジボードを外すと図の工具ボックスが見えます。赤枠で囲んだ工具ボックスも外しておくことを推奨します。図の丸印は2番で説明します。



- 2



- 3



- 4 シート中央の反転テーブルの下にあるパーツを外します。パーツは両手でしっかりと持ち、真っ直ぐ手前に引くと外れます。



- 5



- 6



7 シート裏に指を入れてフックの位置を確認します。



10 カバーをシートの側面から中央に向けてかぶせていきます。シートのラインを意識して作業を行ってください。



8 フックの外し方をシートを外した後の図で説明します。

7番のように指を入れると図のフックの受け側がシート裏にあります。受け側部分にある白い部分をつまみ、手前に引くことでフックのロックが解除されます。



11 シートの中央までカバーをかぶせたら、図のシートのフチに生地を引っ掛けるようにかぶせます。



9 ロックを解除してシートを持ち上げると、フックが外れます。運転席側・助手席側それぞれフックを外すと、シートが車体から外れます。

シートを車外の作業が出来るスペースへ運び出します。シートを車外へ運び出す際は慎重に行ってください。



12 シート全体にカバーをかぶせたら図のようになります。



- 13 反転テーブル周りのカバーの端には、図のマジックテープが4本付いています。



- 16 シートを表側に戻し、反転テーブルを出してマジックテープが端に付いていた生地をトレーとシートの隙間に入れ込みます。ヘアなどを使用してシートの形状に沿わせて生地を入れ込みます。



- 14 シート中央の反転テーブルを出します。反転テーブルを出すと、奥に小物を入れたりするようなトレーがあります。そのトレーとシートの隙間に、マジックテープを4本とも図のように入れ込んでいきます。



- 17 生地を入れ込む→裏から引き出すと繰り返して、シワが残らないように生地を入れ込みます。



- 15 シートを裏返して入れ込んだマジックテープを引き出します。
※シートを裏返す際は、反転テーブルを開めた状態にして下さい。出したまま裏返してしまうと、プラスチック部分に傷が入ってしまう恐れがあります。



- 18 運転席側のシートの後ろ側です。運転席・助手席一体型の、シートを外してシートカバーを装着する座面シートは、カバーが通常のシートのラインより外側へずれる傾向にあります。生地をしっかりとシートのラインに合わせるように内へ寄せながら、生地の手先に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 19 シート中央の後ろも、マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 22 トレーの後ろから出ているマジックテープはシートの後ろ側から出ているマジックテープと固定します。



- 20 シートベルトバックルが収まるシートのフチに、生地を馴染ませるように整えます。



- 23 シート裏側の側面から前にかけて、マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。図の点線部分がマジックテープが付いている位置になります。



- 21 15番でシートの裏から引き出したマジックテープを固定します。トレーの両横から出ているマジックテープは、マジックテープ同士を寄せ合い固定します。



- 24 シート前側の図のフチまで、マジックテープを固定していきます。



- 25 反転テーブルを出した際のトレーのフチは図のようになります。



- 1 反転テーブルを図のように斜めに立てた状態でカバーをかぶせます。テーブル先端のポケットの部分まで生地が張るようにしっかりとかぶせます。



- 26 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。シートは背もたれカバーと背もたれ横のサイドシートにカバーを装着後、車体へ戻します。2列目座面シートの戻し方は26ページをご覧ください。



- 2 反転テーブルの下から生地を入れ込みます。



- 3 反転テーブルを出した状態にして入れ込んだ生地を引き出します。



4 反転テーブルの表側にもカバーをしっかりとかぶせます。



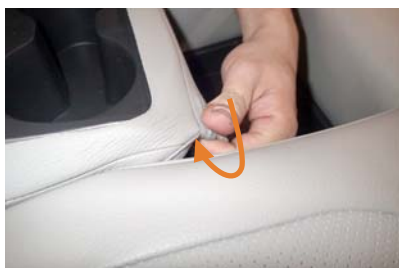
7 ドリンクホルダーのあるボックス部分のフチに生地を入れ込みます。プラスチック部分に傷を付けないように慎重に作業を行ってください。



5 3番で引き出した生地と4番の生地の端をファスナーで固定します。生地をしっかりと寄せ合いながら、作業は慎重に行ってください。



8 ボックス部分の角は一番きつくなっています。特に慎重に作業を行ってください。



6 ファスナーの端は折り返してカバーの中へ入れ込みます。



9 生地を全て入れ込むと図のようになります。カバーのラインを整えて、反転テーブルの完成です。

Step 5

…→反転テーブル下のパーツ 装着方法



- 1 9ページ4番で外した反転テーブル下のパーツにカバーを装着していきます。パーツの角に引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



- 4 カバーの固定方法には薄手の両面テープの使用を推奨します。両面テープは図の3か所に貼り付けます。



- 2 片方の角に引っ掛けた部分を軸にして、もう片方の角にもカバーを引っ掛けます。パーツ全体にカバーをかぶせて、ラインを整えます。



- 5 4番で貼り付けた両面テープを固定すると図のようになります。



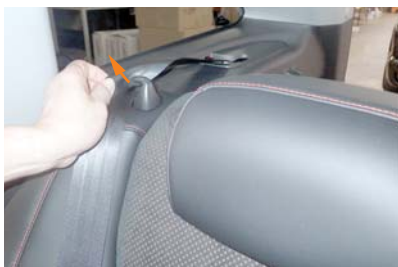
- 3 パーツのフックの位置にカバーの加工穴を合わせます。



- 6 パーツの表面は図のようになります。これでパーツのカバーの装着は完成です。パーツ自体は座面シートを車体に戻す際に座面シートに固定します。

Step 6

…→サイドシートの装着方法



- 1 2列目背もたれ横にあるシート（※以降・サイドシート）を車体から外します。肩口のシートベルトガイドの隙間からシートベルトを外します。



- 4 カバーの装着は車外へ運び出して行います。



- 2 サイドシートは下側で車体とボルトで固定されています。ソケットレンチなどを使用してボルトを外します。ソケットは10mmを使用します。



- 5 カバーを装着する前にシートベルトガイドを外します。ガイドはネジで固定されています。ドライバーを使用してネジを外すとサイドパーツからガイドが外れます。



- 3 これで車体からサイドシートが外せます。サイドシートは裏側で、ツメで2か所固定されています。ツメはサイドシートを上方向にスライドさせるように持ち上げることで外れます。



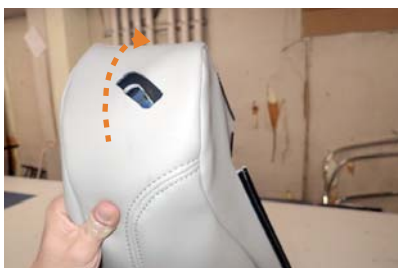
- 6 カバーを装着する準備をします。カバーは純正シート地とほぼ同様の固定方法で取り付けます。純正シート地のプラフックで固定されている部分を、ヘラなどを使用して外していきます。



- 7 プラック部分を外すと図のようになります。
 ※ツメに生地を引っ掛けている部分は外しません。



- 10 純正シート地が固定されているツメ部分に純正シート地の上からカバーの切り込みを引っ掛けて固定していきます。



- 8 サイドシートにカバーをかぶせます。サイドシートの先端にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 11 サイドシート下側の図の2カ所にもカバーの切り込みを引っ掛けて固定します。



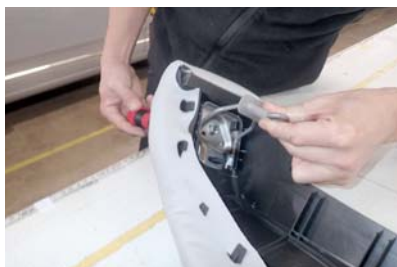
- 9 サイドシートの下側に生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 12 7番で外した純正シート地のプラックを固定していたフチの手前で折りたたみ、シートカバーの固定に邪魔にならないようにしておきます。



- 13 純正シート地のブラックを外したフチにシートカバーのブラックを固定していきます。



- 16 シートベルトガイドを固定する際は、裏の受け側がグラグラと動いてしまうことがあります。図のように裏のフレーム部分をpushさながら作業を行って下さい。



- 14 全てのブラックを固定したサイドシートの裏側は図のようになります。



- 17 カバーのラインを整えて、サイドシートの完成です。ここから車体に戻していきます。



- 15 シートベルトガイドを元に戻します。



- 18 サイドシートを車体に戻します。サイドシートにカバーを装着したことで生地が厚くなる分、車体に戻し難しくなっています。ツメの位置を意識して作業は慎重に行ってください。
※ここから図は助手席側のサイドシートになります。

Step 7 ...> 2列目背もたれの装着方法

上から下へ固定する



- 19 サイドシートのツメの位置、車体側の受けの位置をしっかりと意識して固定していきます。少しでも引っ掛かったりした場合は無理をせずにやり直して下さい。強引に固定しようとする内側のツメが破損する恐れがあります。



- 20 サイドシート裏側のツメが固定出来たら、下側のボルトを固定します。ツメがしっかりとハマっていない場合などはボルトの穴位置がずれていたたり、サイドシート自体がまだ浮いている状態の場合があります。その場合はツメの固定を再度見直して下さい。



- 21 シートベルトをシートベルトガイドに通します。カバーのラインを整えて、サイドシートの完成です。



- 1 中央のシートベルトバックルの固定を外します。バックルは座面シートを外した後の車体側にボルトで固定されています。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは17mmを使用します。



- 2 ボルトを外すと図のようにシートベルトバックルの固定が外れます。



- 3 カバーを装着していきます。**2番**で外したシートベルトバックルをカバーの加工穴に通します。



4 アームレストを斜めに倒してカバーの加工穴に通します。シート全体にカバーをかぶせます。



7 シート内側のフチにも生地を入れ込みます。



5 アームレストの付け根に生地をしっかりと入れ込みます。



8 シート内側の軸周りにも生地をしっかりと入れ込みます。



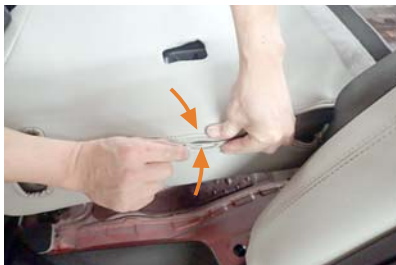
6 アームレスト収納部の周りに生地を入れ込みます。ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



9 アームレスト収納部の内側に生地を入れ込みます。端に固定部材の付いた生地をヘラなどを使用して入れ込みます。この際、図のプラスチックパーツを手前に引きながら作業を行うと固定部材が入り込みやすくなります。



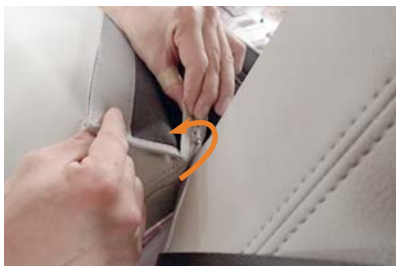
10 アームレストの収納部分は図のようになります。



13 カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



11 シートの下から生地を背面側へ入れ込みます。



14 ファスナーの端は、折り返してカバーの中へ入れ込みます。



12 シートを倒して生地を引き出します。



15 12番で引き出した生地と、カバーの背面下をマジックテープで固定します。



- 16 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 19 リクライニングレバーのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 17 中央のシートベルトが出ているプラスチックパーツのフチに生地を入れ込みます。プラスチックパーツはシートの表側にネジ2本で固定されています。ドライバーを使用してネジを緩めます。ネジは外さず緩めるだけで十分です。



- 20 リクライニングレバー周りは図のように収まります。
※生地を入れ込みすぎるとレバーの動作に影響が出る場合があります。ご注意ください。



- 18 プラスチックパーツのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。生地をきれいにに入れ込めたらネジを締め直します。



- 21 シート背面のチャイルドシート固定用アンカー部分に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 22 チャイルドシートのアンカー周りは図のようになります。



- 23 アームレスト下の生地を、シートに馴染ませるように入れ込みます。



- 24 中央のシートベルトバックルを固定します。



- 25 ラグジュアリーボードを戻した際、カバーの端に付いているマジックテープに、ラグジュアリーボードの端に付いているマジックテープを固定します。
※ラグジュアリーボードは全てのシートカバー装着後、元に戻すようにして下さい。



- 26 カバーのラインを整えて、2列目助手席側背もたれの完成です。
助手席側は、シート形状は異なりますが、ファスナーとマジックテープで、同様の固定方法で取り付けます。

Step 8

…→2列目中央アームレストの装着方法



- 1 カバーを図のように裏返し、アームレストのラインに合わせてカバーをかぶせます。この際、アームレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい、



- 4 アームレストを倒して生地を引き出します。



- 2 アームレストのラインからずれないように全体にカバーをかぶせます。



- 5 アームレストを倒した状態で、アームレストの付け根部分でブラックを固定します。



- 3 アームレストの下から、端にフックの付いた生地を入れ込みます。図のように片方の手で生地を入れ込み、もう片方の手でアームレストを倒す→起こすと繰り返していくと生地が入り込んでいきます。



- 6 ブラックの固定方法は、カギ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



7 プラックを固定したアームレストの軸部分は図のようになります。



10 アームレストを出した状態です。



8 アームレストを起こすと軸の部分にシワが入っている場合があります。それは生地が中央へ寄りすぎているためです。生地をしっかり端に寄せて馴染ませます。



9 カバーのラインを整えて、2列目中央アームレストの完成です。
アームレストをシートへ収納した状態です。

Step 9

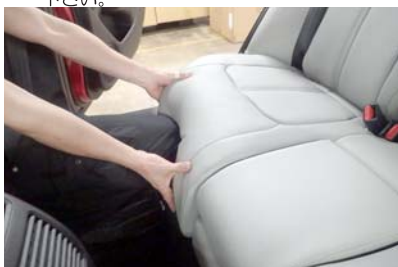
…> 2列目座面の戻し方



- 1 座面シートを車体へ固定します。車外へ出していたシートを慎重に車内へ運び入れます。図のように少し斜めにした状態でシートベルトバックルを取り出して、背もたれ下へ入れ込みます。入り込む角度があるので調整しながら行って下さい。



- 2 シートの背面に回り、図のフレームを固定する穴位置に向けて引っ張ります。シートカバーを装着したことにより、穴位置までなかなか届かない場合があります。引っ張っても届かない場合は3番の作業を行って下さい。



- 3 シートの先端を膝で押し込みます。この際背中を1列目背もたれの背面に付けて体を支えるようにすると力が入ります。この作業を行い2番の固定穴位置を合わせてボルトを固定します。

※背もたれを座面側に倒すとシートが入り込みやすくなります。



- 4 シート裏のフックを固定します。シート裏に指を入れて受け側の位置を確認した上でシートを上から押し込みます。押し込むだけではロックが掛からない場合は、6ページ8番で手前に引いた部分が自力で戻らなくなっているので、逆に押しあげると固定できます。



- 5 反転テーブル下のボルトを固定します。



- 6 反転テーブル下のパーツを元通りにはめ込み固定します。これで2列目座面シートを戻す作業は終わりです。作業中にカバーのラインがずれたりした場合は、再度調整して下さい。

Step 10

…→ヘッドレストの装着方法



- 1 カバーの前後を確認します。フック状のブラフックが付いている方が前です。カバーを図のように裏返して、ヘッドレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせます。



- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレストの裏側で生地を寄せ合い、マジックテープを固定します。



- 4 ヘッドレストの裏側でブラフックを固定します。



- 5 ブラフックの固定方法は、カギ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6 ヘッドレスト側面の角度調整ボタンのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。※こちらは隙間が狭いため、生地は5mm程度しか入り込まないようにしています。カバーの装着がずれているとシート地が見えてしまうので、その際は再度装着位置を調整して下さい。



- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 10 1列目のヘッドレストと同様にブラフックを固定します。2列目両端のヘッドレス裏は図のようになります。

2列目ヘッドレスト



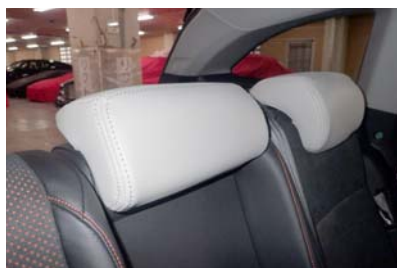
- 8 2列目の両端・中央のヘッドレストは、ヘッドレストの先端から後ろ側へカバーをかぶせていきます。



- 11 2列目中央のヘッドレストです。ヘッドレストの裏側で、マジックテープを固定します。



- 9 2列目両端のヘッドレストです。ヘッドレスト全体にカバーをかぶせたら、ヘッドレストの裏側で生地を寄せ合い、マジックテープを固定します。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メーター単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816